



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月6日
上場取引所 東

上場会社名 サンヨーホームズ株式会社
コード番号 1420 URL <https://www.sanyohomes.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 久志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福井 江治 TEL 06-6578-3403
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	7,059	2.9	△582	—	△593	—	△417	—
2024年3月期第1四半期	6,860	△0.6	△781	—	△802	—	△559	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 △419百万円 (—%) 2024年3月期第1四半期 △559百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	△37.53	—
2024年3月期第1四半期	△50.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	44,711	14,188	31.7	1,274.23
2024年3月期	46,406	14,905	32.1	1,338.62

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 14,188百万円 2024年3月期 14,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	15.6	1,350	41.7	1,200	28.3	800	23.4	71.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	12,620,000株	2024年3月期	12,620,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,485,386株	2024年3月期	1,485,386株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	11,134,614株	2024年3月期1Q	11,097,464株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式（2025年3月期1Q 765,645株、2024年3月期765,645株）が含まれております。また、役員向け株式給付信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2025年3月期1Q 765,645株、2024年3月期1Q 562,795株）。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、緩やかな回復基調が続く一方で各種物価の上昇、世界情勢の緊迫化、円安の進行等のなか、直近にて株価・為替相場の急変が起きている状況で、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましても、地価や資材・原材料価格の高値推移、建設業における働き方改革や人手不足等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、事業コンセプトである「エコ&セーフティ」環境・安全・安心を主軸とした商品開発を行っております。そのなかで「life style KURASI' TE (LCCM住宅水準モデル)」が「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー2023」において「特別優秀賞」を受賞し、9年連続の受賞となりました。また、戸建商品「水害に負けない安心の暮らし」、水害対策リフォーム「すぐ住む我が家」の水害対策提案が評価され「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)2024」において「優秀賞」を受賞し、4年連続の受賞となりました。

当年度は、2024年5月に発表いたしました中期経営計画の初年度となりますので、計画達成に向けて更なる企業価値の向上を図ってまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績については、売上高7,059百万円(前年同期比2.9%増)、営業損失582百万円(前年同期比199百万円改善)、経常損失593百万円(前年同期比208百万円改善)、親会社株主に帰属する四半期純損失417百万円(前年同期比141百万円改善)となりました。

当社グループの業績は、住宅事業およびマンション事業において、引渡し時期を顧客の要望に対応していることや、マンションの竣工引渡し時期の影響により、売上の計上時期が第2四半期と第4四半期に集中するといった季節的変動があり、当年度においては第4四半期に集中する見込みであります。

(セグメント別の概況)

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

戸建住宅におきましては、開口面積を減らすことで断熱性を高める等、エコロジーとエコノミーを両立させた「w-eco design」やレジリエンス(危機的状況から力強く立ち直る復元力)に注力した水害対策住宅等を提案することにより、さらなる受注拡大に努めてまいります。なお、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)比率については、当第1四半期連結会計期間においては94%(前年同期100%)となりました。

不動産ソリューション(旧 賃貸・福祉住宅)におきましては、賃貸アパートのみでなく商業施設やクリニックモール等の土地活用にも注力しております。なお、ZEH対応不可のガレージハウスを除くZEH比率は、当第1四半期連結会計期間は100%(前年同期100%)となりました。

リフォームにおきましては、前年度より引き続き、3省(国土交通省、経済産業省、環境省)連携による住宅の省エネ化支援強化策「住宅省エネ2024キャンペーン」の推進等により一層の拡大を目指してまいります。

リニューアル流通(既存住宅流通)におきましては、スクラップ&ビルドからの脱却目指し、お客様のニーズに合う中古住宅の購入、売却、リノベーションからアフターサービスまで一気通貫にて事業展開をしております。

フロンティア事業におきましては、子会社のサンヨーアーキテック株式会社が太陽光や蓄電池等のエコ・エネルギー設備と鉄骨構造躯体の販売や施工等を担っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の住宅事業の経営成績につきましては、売上高4,173百万円(前年同期比4.8%減)、営業損失281百万円(前年同期比65百万円改善)となりました。

マンション事業におきましては、滋賀県野洲市と「野洲駅南口周辺整備官民連携事業」における基本協定を締結いたしました。今後「well-being Future」心と体の健康をベースに人・地域・企業がつながり、にぎわいを図るを事業コンセプトとして進めてまいります。当第1四半期においては新規の竣工物件はなく、「サンメゾン徳重」(名古屋市緑区:37戸)の販売を開始しました。また、当期竣工予定である「サンメゾン香里園駅前」(大阪府寝屋川市:153戸)、「ザ・サンメゾン大濠公園」(福岡市中央区:23戸)等の販売や竣工等に注力しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のマンション事業の経営成績につきましては、売上高1,784百万円(前年同期比23.1%増)、営業損失22百万円(前年同期比156百万円改善)となりました。

ライフサポート事業におきましては、マンション管理、介護・保育施設運営、寄り添いロボットの開発・販売等の生活支援サービスや地方創生を担っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間のその他事業の業績は、売上高1,101百万円(前年同期比7.3%増)、営業損失48百万円(前年同期比9百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産額は44,711百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,695百万円の減少となりました。主な要因は、仕掛販売用不動産3,095百万円の増加、現金及び預金3,998百万円、販売用不動産1,264百万円の減少等によるものです。

負債総額は30,523百万円となり、前連結会計年度末と比較し978百万円の減少となりました。主な要因は、長・短借入金3,457百万円の増加、支払手形・工事未払金等3,985百万円、未払法人税等288百万円の減少等によるものです。

純資産総額は14,188百万円となり、前連結会計年度末と比較し716百万円の減少となりました。主な要因は、利益剰余金715百万円の減少等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,639,820	7,641,146
受取手形・完成工事未収入金等	1,566,406	1,775,465
販売用不動産	9,729,182	8,464,213
仕掛販売用不動産	16,586,732	19,682,163
未成工事支出金	134,435	154,120
その他の棚卸資産	203,694	253,413
前払費用	290,092	391,811
その他	558,686	520,092
貸倒引当金	△1,032	△1,387
流動資産合計	40,708,018	38,881,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,104,222	2,075,590
土地	1,083,287	1,083,287
その他(純額)	52,417	49,725
有形固定資産合計	3,239,927	3,208,602
無形固定資産		
ソフトウェア	68,714	63,540
その他	11,632	8,332
無形固定資産合計	80,347	71,873
投資その他の資産		
投資有価証券	31,340	31,340
繰延税金資産	905,995	1,083,382
その他	1,445,460	1,439,554
貸倒引当金	△4,493	△4,433
投資その他の資産合計	2,378,302	2,549,844
固定資産合計	5,698,577	5,830,320
資産合計	46,406,595	44,711,361

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	6,615,168	2,629,588
短期借入金	4,678,000	6,268,000
1年内返済予定の長期借入金	6,100,000	5,620,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払費用	506,012	504,372
未払法人税等	309,353	20,693
未成工事受入金	3,425,564	3,361,874
前受金	270,224	404,666
賞与引当金	327,307	163,979
株式給付引当金	60,320	60,320
完成工事補償引当金	106,900	102,900
その他	1,045,070	999,323
流動負債合計	23,543,920	20,235,718
固定負債		
長期借入金	5,821,000	8,168,000
社債	200,000	200,000
繰延税金負債	11,504	5,163
役員株式給付引当金	180,660	188,779
役員退職慰労引当金	4,900	5,075
退職給付に係る負債	1,350,832	1,316,207
その他	388,738	404,308
固定負債合計	7,957,636	10,287,534
負債合計	31,501,557	30,523,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,945,162	5,945,162
資本剰余金	3,612,399	3,612,399
利益剰余金	6,395,423	5,679,979
自己株式	△1,032,245	△1,032,245
株主資本合計	14,920,739	14,205,295
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△15,700	△17,186
その他の包括利益累計額合計	△15,700	△17,186
純資産合計	14,905,038	14,188,108
負債純資産合計	46,406,595	44,711,361

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	6,860,175	7,059,204
売上原価	5,694,650	5,635,118
売上総利益	1,165,524	1,424,085
販売費及び一般管理費	1,946,756	2,006,123
営業損失(△)	△781,232	△582,037
営業外収益		
受取利息	1,263	960
受取賃貸料	10,494	12,081
違約金収入	500	5,906
その他	13,030	7,284
営業外収益合計	25,289	26,232
営業外費用		
支払利息	35,630	32,199
その他	10,819	5,530
営業外費用合計	46,449	37,730
経常損失(△)	△802,392	△593,535
特別損失		
固定資産除却損	135	—
特別損失合計	135	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△802,527	△593,535
法人税、住民税及び事業税	9,580	7,477
法人税等調整額	△252,313	△183,074
法人税等合計	△242,733	△175,597
四半期純損失(△)	△559,794	△417,937
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△559,794	△417,937

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純損失(△)	△559,794	△417,937
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△150	△1,485
その他の包括利益合計	△150	△1,485
四半期包括利益	△559,944	△419,423
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△559,944	△419,423
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	35,984千円	37,187千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	521,747	377,617	899,365	—	899,365	—	899,365
中部	711,557	—	711,557	—	711,557	—	711,557
近畿	2,092,812	792,783	2,885,595	—	2,885,595	—	2,885,595
九州	606,646	250,748	857,394	—	857,394	—	857,394
その他(区分外)	397,354	—	397,354	1,011,276	1,408,631	—	1,408,631
顧客との契約から生じる 収益	4,330,118	1,421,148	5,751,267	1,011,276	6,762,544	—	6,762,544
その他の収益	54,474	28,288	82,763	14,867	97,631	—	97,631
外部顧客への売上高	4,384,592	1,449,437	5,834,030	1,026,144	6,860,175	—	6,860,175
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8,257	540	8,797	3,568	12,365	△12,365	—
計	4,392,850	1,449,977	5,842,827	1,029,713	6,872,540	△12,365	6,860,175
セグメント損失(△)	△346,924	△178,687	△525,612	△57,966	△583,578	△197,653	△781,232

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失の調整額△197,653千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	住宅事業	マンション 事業	計				
売上高							
関東	885,764	151,794	1,037,558	—	1,037,558	—	1,037,558
中部	1,025,539	281,139	1,306,679	—	1,306,679	—	1,306,679
近畿	1,270,559	1,079,131	2,349,691	—	2,349,691	—	2,349,691
九州	652,529	236,231	888,760	—	888,760	—	888,760
その他(区分外)	287,566	—	287,566	1,086,865	1,374,432	—	1,374,432
顧客との契約から生じる 収益	4,121,959	1,748,296	5,870,256	1,086,865	6,957,121	—	6,957,121
その他の収益	51,783	35,856	87,640	14,441	102,082	—	102,082
外部顧客への売上高	4,173,743	1,784,153	5,957,896	1,101,307	7,059,204	—	7,059,204
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14,140	540	14,680	2,981	17,661	△17,661	—
計	4,187,883	1,784,693	5,972,577	1,104,289	7,076,866	△17,661	7,059,204
セグメント損失(△)	△281,649	△22,189	△303,838	△48,697	△352,536	△229,501	△582,037

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサポート等に関連する全地域を一括管理しているものであります。

2. セグメント損失の調整額△229,501千円の内容は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

当第1四半期連結累計期間における受注高、売上高、受注残高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

①受注高

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	3,939,263	71.7
マンション事業	4,026,010	52.8
その他	1,101,307	107.3
合計	9,066,582	64.1

- (注) 1. セグメント間取引については相殺消去しております。
2. 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。

地域別受注高については、次のとおりであります。(単位：千円)

関東地方	中部地方	近畿地方	九州地方	合計
1,656,987	1,394,105	4,781,605	1,233,884	9,066,582

②売上高

セグメントの名称	売上高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	4,173,743	95.2
マンション事業	1,784,153	123.1
その他	1,101,307	107.3
合計	7,059,204	102.9

- (注) セグメント間取引については相殺消去しております。

③受注残高

セグメントの名称	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
住宅事業	12,021,005	87.8
マンション事業	13,430,140	83.5
合計	25,451,146	85.5

- (注) 「その他」は売上高と同額を受注高としており、受注残高はありません。